

# 平成25年度 第2回学都仙台コンソーシアム運営委員会議事要録

## 1 日時

平成25年9月12日（木）15時30分～17時30分

## 2 場所

復興大学本部（AERオフィスフロア 7階）

## 3 出席者

海野道郎委員長（宮城学院女子大学）、三友紀男副委員長（仙台青葉学院短期大学）、杉田博委員（石巻専修大学）、松田憲次郎委員（尚絅学院大学）、阿部芳吉委員（仙台大学）、沓澤弘武氏（東北芸術工科大学）（宮島達男委員代理）、今西肇委員（東北工業大学）、大庭清委員（東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部）、佐藤義幸委員〈広報部会長〉（東北大学）、松江克彦委員（東北福祉大学）、黒田英雄氏（東北薬科大学）（櫻田忍委員代理）、芳賀茂氏（宮城教育大学）（中井滋委員代理）、笹井弘之委員〈事務局長〉（宮城大学）、沓澤三喜雄委員（放送大学宮城学習センター）、遠藤智明氏（仙台高等専門学校）（内海康雄委員代理）、押谷祐子委員（東北多文化アカデミー）、八島和彦委員（みやぎ工業会）、阿部博敬氏（宮城県）（千葉章委員代理）、渋谷智彦氏（仙台市）（村上薫委員代理）

以上（順不同）

## 4 議事

### 1 コンソーシアムの事業改善について

笹井事務局長より資料に基づき説明が行われ、その後、海野委員長より事業改善WGメンバーの選出について補足説明が行われた。

事業改善WGメンバーについては、委員長以下各セクションの長の他に運営委員長が必要と認めた者若干名お願いするとした。

### 2 後援名義の基準（案）について

笹井事務局長より資料に基づき説明が行われた。

規則として承認いただき、後日メール審議も可能にするなどを定めた運用細則を作成する旨説明があった。

### 3 総会で出された意見の取り扱いについて

- 1) 文部科学省G P「戦略的・大学連携支援事業」申請時に設置した遠隔授業システムの事業期間（10年）のあり方について
- 2) 全国大学コンソーシアム協議会研究交流フォーラムの仙台誘致と他コンソーシアムの活動実態調査
- 3) 仙台市以外での公開講座開講について

笹井事務局長より資料に基づき、全国大学コンソーシアム協議会研究交流フォーラムの仙台誘致と他のコンソーシアムの活動実態調査及び仙台市以外での公開講座開講についての説明が行われた。その後、事務局より、文部科学省G P「戦略的・大学連携支援事業」申請時に設置した遠隔授業システムの事業期間（10年）のあり方について説明が行われた。

1) について、今回は今までの経緯を情報共有として説明し、次回の運営委員会まで共有出来る報告があれば説明を行う旨話があった。

2) について、他のコンソーシアムの取り組みを知るためには非常に良い機会となる。絶えず事業へのブラッシュアップをかけるために、このような仕掛けは必要ではないかとの意見が出された。

3) について、仙台市外で公開される公開講座については、仙台市の補助金を使うことを説明できないため難しい。ただし、学都コンソーシアム独自の取り組みとして市外での開催は可能であるとした。

#### ◆報告事項

##### 1 規約の改正と顧問の委嘱について

笹井事務局長より資料に基づき、規約の改正と顧問の委嘱について報告が行われた。

##### 2 企画部会の構成員について

海野委員長より資料に基づき、企画部会の構成員について報告が行われた。

##### 3 各部会からの活動報告について

各部会より資料に基づき報告がなされ、今回報告できなかった部会は次回報告することとなった。

サテライトキャンパス部会より、公開講座の講師紹介に関しアンケートを実施し18機関から回答を得た旨報告が行われた。この件について、部会と事務局でもう少し調整をし、運営委員会でご検討するとした。

##### 4 全国大学コンソーシアム協議会研究交流フォーラムへの参加について

笹井事務局長より資料に基づき、全国大学コンソーシアム協議会研究交流フォーラム参加について報告が行われた。

#### ◆その他

##### 地域中小企業の海外人材確保・定着支援事業について

押谷委員より配布資料に基づき、地域中小企業の海外人材確保・定着支援事業についての説明があった。